

## 令和5年度一般会計補正予算などを可決

6月定例市議会が6月6日に招集され、19日までの14日間の会期で開かれました。上程された議案は、令和5年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など8件と報告2件で、すべて原案のとおり可決されました。

### 上程された主な議案

#### ◇令和5年度にかほ市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算とも2億7、277万7千円を追加し、予算総額は164億7、828万円となりました。

#### 【主な歳出】

- ・集会施設整備費補助金 350万円
- ・一時預かり事業費補助金 120万円
- ・企業的農業法人へのジャンプアップ応援事業費補助金 326万2千円
- ・企業立地促進条例補助金 1、918万5千円
- ・夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金 80万円

#### ◇令和5年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算とも1、492万5千円を追加し、予算総額は1

64億9、320万5千円となりました。

#### 【主な歳出】

- ・障害者支援施設等物価高騰対策事業費補助金 214万8千円
- ・介護保険施設等物価高騰対策事業費補助金 976万2千円
- ・保育所等物価高騰対策事業費補助金 292万1千円

### 主な市政報告

#### ◇白幡森周辺エリア基本構想策定

若者支援住宅整備区域を含む白幡森周辺エリアの土地利用に係る基本構想については、令和4年度において、産・学・官・民の代表者により構成する基本構想検討委員会を3回にわたり開催し、いただいた貴重な意見を反映しながら3月末に策定しました。若年層の定着化や地元回帰を

#### ◇象潟前川地区景観保全型ほ場整備事業

平成30年度に地元農家の方々から象潟前川地区のほ場整備事業の要望を受け、これまで県と市が各種調査や計画策定等に取り組み、昨年11月、国へ事業採択申請書を提出し、今年4月3日付けで事業採択が決定しました。本事業は、営農継続と農業生産性の向上を図るとともに、天然記念物「象潟(九十九島)」を守り、損なわれ始めた景観を復活させるもので、今年度は実施設計等を行い、来年度から工事に着手し、令和11年度に完成の予定となっています。

#### ◇移住・定住の促進に向けた取り組み

移動制限の緩和に伴い令和4年度では、首都圏で開催された全国規模のものを含め、県内外の移住イベントに計10回出張して、移住相談件数や移住先の環境視察のために本市を訪れる移住希望者数も目に見えて増加しています。今年3月には移住リエゾン主体で「移住者と地元住民との交流イベント」を開催し、定員を超える約40人の参加があり、移住者のみならず地元住民間にも

促進し、人口減少・少子高齢化の加速を抑制するとともに、ICT活用と官民連携による持続可能なまちづくりの実現のため、今回策定した構想を基に、都市計画で定める用途地域の指定変更などを進め、持ち家確保を含めた若者・子育て世代の移住定住をさらに促進し、魅力ある住環境づくりに取り組めます。

#### ◇シティブロモーション戦略の策定

本市の持続的な発展を目指して市の魅力を市内外に効果的に発信し、認知度の向上と移住定住・人口の拡大、市民のまちへの愛着や誇りを醸成するため、シティブロモーション戦略を策定しました。

今後は、これまで担当課が個々に取り組んできた観光振興や移住定住支援、ふるさと納税、子育て支援、企業誘致、農業振興などの施策のPR事業について、横断的に取り組むための推進チームを庁内に設置するほか、市内の各種団体など幅広い分野から構成する協議会を設置するなど、推進体制を構築していきます。

市内外の方々に分かりやすいコンテンツの充実と情報発信を図りながら、「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と思われるまちづくりを軸として、「秋田といえはにかほ市」と、本市が即座に思い浮かべられるようシティブロモーションを進めていきます。

#### ◇地域脱炭素実現に向けた計画づくり支援事業の採択

本市では、これまで地球温暖化防止実行計画を作成し、省エネの推進と廃棄物の減量化に取り組んでいますが、今後、地域住民や市内事業者等の機運も高めながら、脱炭素社会実現に向けたより具体的な取組みを進めるため、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業である「地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業」の採択申請を行いました。このたび事業の採択が決定したことから、今後「(仮称)脱炭素化推進協議会」を設置し、より実効性のある計画づくりを進めていきます。

#### ◇新型コロナウイルスワクチン接種事業

今年3月31日までとなっていた特例臨時接種の期間が令和6年3月31日まで延長され、今年度も自己負担のないワクチン接種を実施します。

### 主な教育行政報告

#### ◇奥の細道象潟全国俳句大会

今年度の「奥の細道象潟全国俳句大会」は、8月5日、道の駅象潟「ねむの丘」を会場に開催します。「象潟」が松尾芭蕉の奥の細道紀行の目的地の一つであったことを市内外にPRし、交流人口の拡大を図るとともに小・中学生の俳句への関心を高めていきます。

#### ◇埋蔵文化財の調査

本年4月より文化財保護課に埋蔵文化財班を新たに設置し、平沢地区の「行ヒ森遺跡」について遺跡の全容を解明し、記録保存をするための発掘調査を実施しています。現在、遺構や遺物の検出作業を行っており、平安時代のものと思われる遺物が多数見つかっています。この発掘調査は8月末までと見込んでいます。

また、象潟前川地区景観保全型ほ場整備事業の予定地においても、秋頃から埋蔵文化財の有無を確認する分布調査を実施します。事業面積が約200haと大規模であることからほ場整備事業の進捗に合わせ、年次計画を立てて実施していきます。

接種スケジュールは、追加接種可能なすべての年齢の方を対象に秋から冬に1回行い、重症化リスクが高い方には春から夏に前倒しし、さらに1回接種を行います。

春開始接種は、初回接種を終了した65歳以上の方、64歳以下の基礎疾患を有する方、医療従事者等を対象に、5月8日から8月31日まで実施し、5月14日から高齢者施設の巡回接種を開始しています。

5月21日からは総合福祉交流センタースマイルで集団接種を開始していますが、6月30日では、感染状況や6月の集団接種の予約状況などを見極めながら、実施について判断していきます。

小児の追加接種と乳幼児の初回接種については、前年度から引き続き由利本荘市との協定に基づき、由利本荘市内の小児科医院で接種を行います。

#### ◇敬老式

今年度の敬老式は、会場での飲食をせずに行う予定でありましたが、今般の状況を鑑み、例年通り飲食を伴う形式で実施することとしました。